

「薬剤師の仕事って?」

薬局で働いているおじさんのところに、高校入試に合格した甥っ子の「やつくん」が遊びにきました。将来は、僕も薬を開発したいと言っています。そんな薬局での一コマを紹介します。



Q 薬剤師の仕事って何なの?

A みんなが知っているのは、病院や薬局で薬を調合してくれる人ってことだよね。薬を調合するためには、薬剤師の資格が必要になる。でも、それだけじゃないんだ。今重要なのが、薬に関する情報患者さんに伝え理解してもらうこと。そして、健康や福祉に関する知識を薬局から発信することなんだ。

薬剤師の仕事は調剤だけではなくて、保健所で毒物や劇物、食品衛生や環境衛生を担当していたり、様々な医薬品や環境の分析をして調べる、警察の鑑識課なんかでも活躍している。「やつくん」が薬学者に成れば、すごい薬を開発するんじゃないかな? 薬剤師の仕事って結構幅広いよ。

Q 薬剤師の資格ってどうやって取るの?

A 一〇一六年にローマで最初に独立した専門の薬剤師と薬局が誕生して。日本では四年制大学の薬学部に進学して、薬剤師国家試験に合格すると免許がもらえるんだ。

Q 今「就職難」っていわれるけど勤務先はあるの?

A 秋田県は、全国一医薬分業率が進んでいて、67.1%になってるんだ。全国平均が43.7%だから、断トツなんだよ。病

院や診療所から処方せんが発行され、薬局で薬をもらうようになっちゃうだろ。だから、薬局では薬剤師が不足してる。それに、四年制から六年制に移行することが検討されているから、もうしばらく不足の状態が続きそうだ。今から頑張って薬学部に進学してよ、就職は約束するよ。

Q おじさんがしてる医薬分業って一度手間じゃない? 何か良いことあるの?

A 医薬分業と云う医療制度が始まったのは、一一四〇年のことなんだ。神聖ローマ帝国のフードリヒ二世は非常に慎重な人だった。毒殺を恐れてこれを防止する仕組みを考えた。それが「薬剤師の大憲章」(備考参照)にまとめられた。この大憲章で、病気を見立てる医師と薬を調合する薬剤師の仕事を分けたのが医薬分業の始まりだ。医療事故が起きれば、大騒ぎになるだろう。その前に確認して、防いでいる例がある。そうした方がお医者さんも助かるし、一度手間を掛けられる効果があるってことさ。だから、欧米では当たり前になってるんだ。今まで、先進国で医薬分業が進んでいたのは日本ぐらいだった。外国语には医薬分業っていう単語はないよ。

Q 毒殺なんて大げさじゃない?

A 今じゃ、確かに大げさだな。でもね、その精神が大切だ。薬の作用は複雑になるし、副作用も発生してる。多くの医療機関から処方せんをもらえば、重複も起こる。薬や食品との飲み合わせや食べ合わせも問題になつてる。どこかで、それを確認しないといけないよね。内科、整形外科、歯科などにかかつたそ

の最後に訪ねるのが薬局とつけた。最後に確認するんだから、「かかりつけ薬局」を一力持つておくほうがよ。

Q 「かかりつけ薬局」はどうやって選ぶの?

A 基本は、自分にとって信頼できる薬局を選ぶことだね。できれば、自宅の近くの方がいい。何かあったときに相談しやすいからね。でも、仕事場の近くや通勤中の薬局を「かかりつけ薬局」にしている人もいる。重要なのは、自分や家族の使っている薬に関する情報を一括管理して、様々な情報をもらうということなんだ。

Q おじさん「おくすり手帳」を渡してたよね。あれで管理してるんでしょ。
A さすが、薬剤師の卵だ。そうだよ、「かかりつけ薬局」を一力所どつても現実にはそううまくいかない。そこで、薬の情報を患者さん自身に持つてもらうでお医者さんや歯医者さんにも見せてもらひます。



らう。そして、みんなで管理しようとしてるんだ。頭で覚えるより確実に管理できるだろ。災害時にも「おくすり手帳」があれば、診察するときにも役立て、同じ薬をもらえる確率が高くなるからね。

Q 「かかりつけ薬局」を決めるわりやすい目安はないの?

A 基準薬局というのがある。その看板を見て、「オレンジ色の背景の中で青十字が回って」る看板が設置してある。よりよい薬局の姿を描いた目標をクリアしているから、お勧めできるよ。



「スイッチOTC」って言ってたけど、それってなに?

A 処方せんがいる医療用の医薬品が大衆薬になれた薬のことだよ。十分に有効性と安全性が確かめられているけど、症状を確かめて、使う量や期間など薬に関する情報をしっかりと理解して、使わなきゃいけない。OTCは、オーバーザカウンターの頭文字をとったものさ。ヨーロッパに行くと、薬は全てカウンターの向こうに置いてある。それほど厳重に管理される。カウンター越しに説明をして販売しているんだ。欧米の薬局に入ると基本的に薬を売らないという姿勢を感じるなあ。

条件が合う人に、必要なだけの薬を十分に説明して渡してる。だから日本では手に入らないような医療用の医薬品が販売されてたりするね。

A 「やつぱり、薬を創るのが面白そつだね?」「薬は毒だ!」ってみんなは言つけれど、「毒だから薬になる」んだよ。薬学者はアマゾンの奥地に入つて毒を探してるのは必ず人に作用するからね。これを主作用と副作用に分けてるのは人間

の方だ。毒の人に対する作用を調べてさじ加減を決め、薬を開発していく。だから安心して使うためには、薬になるまでに蓄積された記録を医薬品情報にまとめて、使う人がそれを理解していくかな。

Q 一生懸命勉強してみるよ。

A がんばってな!でも、薬剤師になら俺の薬局も手伝ってくれよ。
(監修・社団法人秋田県薬剤師会)

救 Q 箱

『薬剤師の大憲章』

- 1 医師と薬剤師に免許を与えるとともに、医師は医療のみを行い、薬は薬局に置くこととする。医師は薬局と関連のあるいかなる事業をも經營してはならないし、いかなる薬局をも医師の保護のもとに置いてはならない。また医師は薬局といかなる金銭的な契約を結んでもならないし、薬局を経営してはならない。
- 2 政府によって任命された監督官が、薬局で調製され薬剤が法にしたがつてつくられたものであることを調べる。もし薬剤師が法を犯してたら財産を没収。監督官が違反を見逃したり、悪事に荷担したときは死刑とする。
- 3 強度の一定した、効き目の確かな薬剤を調製することを宣誓する義務を負わせる。
- 4 薬局の数を定めて、国内に適切に分布するようにし、特定の地域に集中しないようにする。
- 5 薬価は政府が定める。

基準薬局リスト

【鹿角市】

朝日屋薬局	☎0186-23-3031	■23-7610
かづの調剤薬局	☎0186-30-0085	■30-0086
金山薬局花輪店	☎0186-23-5626	■30-1666
黒沢薬局	☎0186-35-3200	■35-3990
すみれ調剤薬局小坂店	☎0186-29-5121	■29-5122
ナリタ薬局	☎0186-22-0028	■22-1786
西村薬局	☎0186-37-2027	■37-3368
花輪調剤薬局	☎0186-30-0066	■30-0060
村木薬局	☎0186-22-0372	■22-0472
薬局高橋屋	☎0186-37-4700	■37-4701
柳沢薬局	☎0186-23-7562	■23-7585

【大館市】

相原薬局	☎0186-42-0293	■43-5675
河畔薬局ジャスコ大館店	☎0186-43-4622	■43-4677
カマヤ薬局	☎0186-42-0406	■42-8406
皇漢堂薬局本店	☎0186-48-3519	■48-6963
タカハシ薬局	☎0186-42-0312	■45-1300
タカハシ薬局三の丸支店	☎0186-49-2318	■45-1301
タカハシ薬局末広店	☎0186-42-0525	■45-1302
ツヤ薬局マックスバリュ店	☎0186-44-5088	■44-5087
殿村薬局栄町店	☎0186-49-0915	■49-1739
ナカマチ調剤薬局	☎0186-43-4026	■43-5788
能登屋薬局	☎0186-42-2727	■42-8747
ひまわり調剤薬局	☎0186-42-4162	■43-3331
ファミリー薬局	☎0186-42-8144	■42-9232
ホテヤ薬局	☎0186-42-2424	■45-1187
ホテヤ薬局いとく店	☎0186-49-1179	■49-0129
ホテヤ薬局御成町店	☎0186-42-4123	■43-5171
ホテヤ調剤薬局	☎0186-43-6400	■45-1188

【北秋田郡鷹巣町・比内町】

昭和堂薬局	☎0186-63-0300	■63-0323
ひない調剤薬局	☎0186-45-4203	■45-4031
北秋調剤薬局	☎0186-63-2510	■63-1904
米代薬局	☎0186-62-0120	■63-2087

【能代市】

赤玉薬局	☎0185-54-6074	■52-3081
赤玉薬局駅前店	☎0185-53-4616	■53-4619
赤玉薬局落合店	☎0185-89-1199	■89-1210
河畔薬局	☎0185-52-3996	■52-3997
きく薬局	☎0185-52-0345	■52-0321
さいとう薬局	☎0185-89-1312	■89-1314
のしろ佐野薬局	☎0185-89-1566	■89-1567
はまなす薬局	☎0185-54-8866	■54-8899
ひがし薬局	☎0185-58-3878	■58-3029
ピノキオ薬局	☎0185-53-5600	■53-5660
やなぎ薬局	☎0185-54-6507	■54-6507

【山本郡峰浜村】

皆川薬局	☎0185-76-2052	■76-2199
------	---------------	----------

秋田県薬剤師会

秋田市千秋久保田町6-6 TEL018-833-2334
E-mail: info@akiyaku.or.jp
http://www.akiyaku.or.jp